

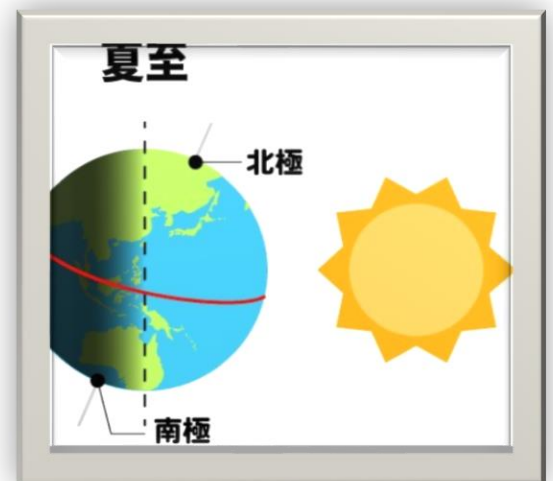


6月22日は夏至！？



先週は、授業参観でした。いつもと違った雰囲気の中、緊張した子どもたちの表情が印象に残りました。先生方も、いつになく静かで、授業がやりやすかったクラスもあれば、子どもの反応がいつもと違い、やりにくかったクラスもあったようです。今日の子どもたちは授業参観用の態度だと思って頂けると有り難いです。

今日6月22日は夏至 summer solstice です。右図のように1年で最も太陽に対して、地軸の傾きが大きくなる日です。北半球の日本では1年で一番昼が長く、南半球のニュージーランドでは、昼が一番短い日です。この地軸が傾きながら太陽の周りを廻るために、春夏秋冬の季節が生じます。それにより今、日本は夏で、ニュージーランドでは冬ということになります。この日を「夏至」と呼びます。日本では夏ですから、夏至で納得できますが、南半球ではこの日を「冬至」というのでしょうか？調べてみると、少し複雑です。天文学的には、今日の太陽と地球の位置関係の日を「夏至」と呼ぶとのこと。ですから世界中、たとえ南半球でも今日は夏至です。どうやらこれには北半球中心の歴史的な背景があるようです。今日6月22日は日本でもニュージーランドでも「夏至」ということになります。ただ、慣習的な意味合いから「夏の昼が一番長い日を夏至」、「冬の昼が一番短い日を冬至」と呼ぶこともあるようです。結局、夏至、冬至どちらの表現をしても、間違いではなさそうです。天文学的意味合いと慣習的意味合いで違いがでているようです。



6月17日(月)は満月でした。日本では、6月の満月を「ストロベリームーン」と呼んで話題になっているようです。アメリカの先住民は、季節を把握するために各月の満月に名前をつけています。6月がイチゴの収穫時期であったことからストロベリームーンと呼んだと言われているようです。満月がイチゴのようにピンク色に見えるということではありません。それぞれ季節に応じた名前がつけられていますが、南半球の季節にはあっていませんね。



1月 Wolf Moon
(狼月)



2月 Snow Moon
(雪月)



3月 Worm Moon
(芋虫月)



4月 Pink Moon
(桃色月)



5月 Flower Moon
(花月)



6月 Strawberry Moon
(莓月)



7月 Buck Moon
(男鹿月)



8月 Sturgeon Moon
(チョウザメ月)



9月 Harvest Moon
(収穫月)



10月 Hunter's Moon
(狩猟月)

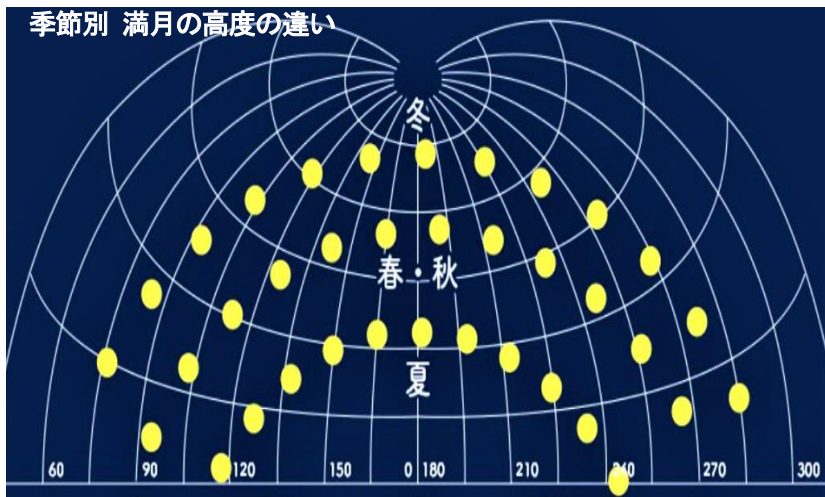


11月 Beaver Moon
(ビーバー月)



12月 Cold Moon
(寒月)

季節別 満月の高度の違い



ところで、満月は地球を真ん中にして、太陽と月の位置が一直線に並ぶために生じる現象です。夏は太陽が高く昇りますから、満月は真夜中に、あまり高く昇らないこととなります。逆に冬の今頃は、太陽が空高く昇りませんので、夜の満月は他の季節に比べて、一番高く昇ることとなります。真夜中は寒いので、あまり見ることはお奨めしませんが、一年で一番空高く昇る満月を見る良い機会でもあります。

保護者の皆様へ連絡

- 一時帰国等により長期休業時の宿題を直接お渡しすることができない場合、ご指定の住所へ郵送致します。あらかじめ A4サイズの入る封筒に必要な切手を貼り、郵送先をご記入の上、担任もしくは事務所に提出ください。
- 借用校 Ilam School の赤いビンにゴミを捨てないでください。ゴミはお持ち帰りください。